

平成30年度 第1回生涯学習センター運営審議会 会議録

- 1 開催日時 平成30年7月18日(水) 9時30分～11時00分
- 2 開催場所 人材かがやきセンター5階 研修室
- 3 出席委員 17名
丸山委員長, 竹内副委員長, 金田委員, 今井委員, 高岡委員, 石井委員, 池田委員, 半田委員, 斎藤委員, 坂本委員, 十河委員, 稲葉委員, 小林委員, 口川委員, 山本委員, 生垣委員, 浅野委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 内容
・議事
(1) 平成30年度生涯学習センター運営審議会の審議内容について
(2) 各種協議会への委員の推薦等について
(3) 平成29年度生涯学習センター事業運営の評価について

7 発言の要旨

丸山委員長	まず、議事(1)「平成30年度生涯学習センター運営審議会の審議内容について」事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料について説明】
竹内副委員長	先ほどご説明の中で、第3次宇都宮市地域教育推進計画が3月に策定されたということでございます。私たちが中を見ても、少子・超高齢社会とか人口減少など生涯学習を進めるにあたっての様々な要因があるかと思いますが、第2次から第3次への地域教育推進計画の策定にあたって、どういった点にポイントを絞ったのか、そのあたりをお聞かせ願いたいと思います。
事務局	第3次宇都宮市地域教育推進計画につきましては、生涯学習センター運営審議会では、平成29年度の3回目の会議で概要について簡単にご説明させていただきました。本日、新しい委員の皆様などに概要版を資料として配布しておらず申し訳ございません。第3次の地域教育推進計画につきましては、第2次の地域教育推進計画を踏まえて改定しているのですが、基本目標としては大きく3つ掲げております。1つ目は市民が主体的な学習活動に取り組むというもので、市民の学習活動をしている割合を上げていくことを目標値として掲げております。

2つ目は、地域全体で学び合い育ち合う教育活動に取り組んでいますというもので、地域における住民主体の教育活動に参加している児童や生徒の数を目標値として掲げております。

3つ目は、学んだ成果を生かして活動している市民の割合を増やすというもので、学習して身につけたものを生かして活動する市民の割合を増やしていくことを目標値として掲げております。

この3つの大きな目標に基づいて各種事業を計画しているのですが、主に生涯学習センターの事業につきましては、基本目標で言いますと1つ目の市民の学習活動をしている割合というところに大きく関連してくる事業が多いと思います。この割合は市民意識調査でとっておりますが、一般的に市民の方への「日頃から文化・芸術・スポーツ活動、生涯学習の活動をしていますか」という質問に対して、「している」という回答の割合が上がっていくところを目指しております。また、基本目標3の学んだことを生かして活動している市民の割合に関する事業が生涯学習センターに大きく関係してくる部分となっております。

第3次の計画では、第2次の計画を踏まえ、概ねは第2次の計画をさらに進めていくものとなっております、市民が学んだ成果を生かして活動していくところをもっと進め、地域の人たちが学習活動を通じて地域コミュニティの強化や、人と人とのつながりなどをさらに深めていくことを事業として力を入れていきたいと考えております。

後日、委員の皆様には第3次の計画の本編と概要版を送付させていただきますので、よろしくお願いいたします。

丸山委員長

ただ今の説明あるいはその他にご意見ございますか。

それでは他にないようですので、この件については以上とさせていただきます。

では、続きまして議事(2)「各種協議会への委員の推薦等について」事務局より説明をお願いいたします。

事務局

【資料について説明】

丸山委員長

ただ今、事務局から説明がありましたように、この会議の委員の中から「栃木県公民館連絡協議会」の部会員、それから「市民大学運営協議会」の委員を選ぶということです。もし、委員の皆様から特にご意見が無いようでしたら、事務局より提案いただこうと思っておりますが、皆様いかがでしょうか。

全員

異議なし。

丸山委員長

それでは事務局案をお願いします。

事務局

【事務局より栃木県公民館連絡協議会の部会委員に生垣委員・浅野委員を提案】

【市民大学運営協議会の委員に長谷川委員を提案】

- 丸山委員長 事務局から候補者があげられました。公民館連絡協議会につきましては生垣委員と浅野委員，市民大学運営協議会につきましては長谷川委員にお願いしたいということですが，皆様いかがでしょうか。
- 全員 異議なし。
- 丸山委員長 ありがとうございます。それでは事務局案に従い，決定したいと思います。選出された委員の皆様，よろしくお願いいたします。長谷川委員は本日，欠席ですので，事務局より連絡をお願いいたします。
- それでは続きまして議事（３）に移ります。
「平成２９年度生涯学習センター事業運営の評価について」事務局より説明をお願いいたします。
- 事務局 **【担当より資料全体の説明後，出席しているセンター所長より平成２９年度に実施した特色ある事業について説明】**
- 丸山委員長 平成２９年度の生涯学習センターの事業内容について，報告，評価を事務局と出席していただいたセンター所長から内容について説明がありました。これにつきまして，委員の皆様から様々な意見をいただければ，来年度あるいは今年度の事業運営に反映できると思いますので，ぜひ何でも気が付いたこと，ご意見とご質問がありましたらお願いします。
- 半田委員 人材バンク登録やVスタッフ企画講座数は増えているということですが，実際に活動につながった実数や割合，企画講座など教えていただきたい。
- 事務局 人材バンクの登録者につきまして，地域での活動などについての細かい数字は把握していないところではありますが，Vスタッフの企画講座につきましては，各生涯学習センターの協力により講座の枠を確保しており，記載のとおり平成２８年度と比べても講座数を増やしながら実施しているところでございます。今年度につきましても，Vスタッフの企画講座につきましては，生涯学習センターと協力して企画枠を確保しております，その枠の中でVスタッフが企画提案したものを各生涯学習センターで審査をし，実際に講座として採用するか判断するなど，来年度に向けてまた準備をしているところでございます。
- 丸山委員長 他には何かございますか。
- 十河委員 資料３の３ページに，人づくりを目的とした講座として高齢者指導者研修会，青

少年リーダー養成講座などということで、地域デビューの講座かと思います。各生涯学習センターの方にお伺いしたいのですが、このような講座をやって、実際に地域デビューした方がどのくらいいたのかをお聞きしたい。

私どもは今、まちづくり協議会の方で人集めをやっているのですが、中々人が集まらないということもありますので、実際に地域デビューの講座をやってどのくらいの方が地域にデビューしたのかということをお聞かせ願いたいと思います。

事務局

人づくりを目的とした講座ということで、各生涯学習センターで指導者研修やリーダー養成講座などを実施しておりますが、この講座に参加して、直接、地域団体へ結びついたかというものを数字では事務局もおさえていないところです。もし各センターの方で、実際にどのくらいというような数などあれば所長からお話しいただきたいところなのですが。

宇賀神所長

富屋生涯学習センターでは、とみや女性学という講座を先ほど説明でもご紹介させていただいたのですが、こちらの講座は約20名程度で毎行っております。その女性たちが自分たちでグループを作りまして、そのグループが富屋のふるさと祭りの中でカフェを出店して地域行事にデビューしていることが事例の1つとしてあります。

十河委員

リーダーとしてできる方々というのはいらっしゃいますか。

まちづくり協議会の方でも人材の部分で頭を悩ませているのですが、色々と集めているのですが、現実問題だめで変わらなかったということがあり、良い方法があればと思ってお伺いしたいのですが。

事務局

生涯学習センターの事業につきましては、各センターの担当者と年に数回研修会を行っているのですが、地域の活動者の不足については、各センターの担当者の意見でもでてきておりまして、リーダー養成講座、指導者養成講座などから直接的に地域のリーダーや活動者につなげるのはすごく難しいということがわかってきました。各センターの実績報告の中でも、連携団体ということでまちづくり協議会など出てきておりますが、先ほどの宇賀神所長のお話のように、異なった活動から地域団体に関わって行って、徐々に地域団体のメンバーとして活動していき、最終的には地域団体のコアな活動者になっていくという流れを、時間をかけて作らないと、地域の活動者につなげていくのは難しいというのが各センターの担当者からの意見でも出てきたところです。そのため、近年、各センターが地域の様々な団体と連携して趣味の講座であったり、地域ビジョン検討の講座であったり様々な講座を実施しているところであり、少しでも関わるきっかけを作っているというのが実際の状況でございます。

十河委員

この前まちづくり協議会の役員会があった時に、みんなでまちづくり課の職員が来まして、平成31年度からポイント制を導入するというような話があったのです

が、ボランティアセンターでやっている高齢者支援ボランティア、健康増進課がやっています健康ポイントなど、手を変え品を変え人集めをやっているのですが、現実問題なかなか難しく、昨日もちよっとお話を聞いてきたのですが、難しいのではないかなと思ったところです。他の地区の方も色々頭を悩ませているようですが、何か良い意見がございましたらぜひお教え願えればと思います。ありがとうございました。

丸山委員長

ありがとうございました。他に何かご意見ございますか。

高岡委員

各生涯学習センターの実施内容の中で、地域学関係につきまして、高齢者の方がとても多いです。それは開催の日程が平日であったり、名前の魅力であったりがあると思いますが、実際の地域ビジョンなども作成するにあたり、やはり現役世代の方の参加、もしくは現役世代の方たちが地域にどれだけ興味を持つかということがすごくポイントだと思っています。そのきっかけとして、生涯学習センターの中の地域学講座というもののの中に、現役世代の方が魅力を感じるようなものを盛り込んで、例えば実施を土日にしてみるとか、そういう幾つかの努力を重ねて、ぜひ現役世代の方の地域学講座への参加に取り組んでいただきたいなと思います。その中で、篠井生涯学習センターの地域力アップ教室は、唯一、参加者の主な世代が40代と書いてありまして、他の生涯学習センターでは70代以上という中で、地域学講座に現役世代を取り込むコツなどがあれば教えていただきたいなと思います。

田代所長

篠井においては、40代のまだ子どもが小さいようなお母さんにも参加していただいたところなのですが、地域力アップ教室は平成28年度から実施してきている中で、土曜日に開催したこともあり、講座の始まる時間帯も色々ご意見もあるかと思いますが、19時半頃だったりします。少し遅めだと思いますが、その方が家のことも終わらせて出てきやすさがあるという声もいただきまして、19時半からの集まりというのが割合として高い状況です。開催時間等の工夫につきましては、そのようにやっており、おかげさまで継続して、月に1回集まったりするのですが、皆さん都合をつけて来ていただいているところです。

それから、ワールドカフェ方式とまで銘打たないのですが、できるだけフランクな場づくりとして、お茶を飲みながら食べながらの雰囲気、特に難しい課題の意見交換の際には念頭に置いて場づくりをしているところです。

高岡委員

私は横川なのですが、地域学セミナーというのをやるとどうしても高齢者の方が多くて、昨年度は横川のセンターでは1回お休みしたんですね。やはり内容的にちょっとマンネリ化しているようなところもありますので、ぜひ、皆さんのお知恵も借りて、地域学講座については現役世代、若い方もご参加いただけるような知恵をしぼっていただけたらなと思っております。

坂本委員

1つ各センター長にお願いなのですが、各センターの内容をわかっていただきました

と思います。特に2年に1回、3年に1回異動がありますから、その異動がされた時点で継続性がなくなるというものも出てくるのではないかなと思います。そのため、センター長には地域の各代表の方たちとの話を絶えずしていただきたい。地域には子どもから青少年、高齢者あらゆる組織がたくさんあり、その中で何が必要と言われているかを把握する、あるいは各団体から色々と意見を出してもらって、それをまとめることが大切だと思います。地域では今まで継続的にやっている事業が多いですが、新しく起こした事業についても各生涯学習センターでは把握し、その地域で一番必要とするものを生涯学習センターがある程度中心になっていただいて、地域と連携をとってこれからも進めていただきたいと思います。その中で、毎年同じような講座をやるのではなく、1つでも2つでも新たな材料として取り上げ、実施していただきたいと思います。

それと話は変わってしまいますが、宇都宮市民大学の協議会がありますが、今回も長谷川委員に入ってくださいことになりました。この市民大学の資料が年に何回かですが、この資料を地区の生涯学習センターなり各地区連合自治会なりに提供していただけるといいかなというように思います。

事務局

市民大学につきましては、各生涯学習センターなどにもご案内しているのですが、坂本委員のご意見ですと、なかなか地域の方に伝わっていない、ご存じないということでもよろしかったでしょうか。

坂本委員

地域で連合自治会役員会や自治会長会議などやりますが、市民大学の資料等についてはあまり配られてはいない。回覧等で何回か回したこともありますが、それくらいのもではなく、各地区には自治会長の会議などあると思いますので、その時に報告できるような資料をもう一つまとめていただければいいなという風に思います。

事務局

講座のPRなど、地域への周知につきましては、市民大学に限らず市の各種講座の課題として捉えておりますので、そういうものも含めまして全体で検討させていただければと思います。

今井委員

平石地区でつい先日、大人の教養講座で百人一首についての話があったのですが、宇都宮氏と藤原定家とのつながりがあって、日本3大歌壇の一つとして、宇都宮歌壇が昔栄えたという良い話を聞かせてもらって、教養講座としては非常に勉強になったなという思いです。教養講座として習うのはすごく良いのですが、ああいう話を聞くと、せっかくのそういう文化資源を今後宇都宮市のまちづくりにどうやって活かすかというのが非常に大切だなと感じました。宇都宮市として、百人一首ですとか和歌などというのをまちづくりにどういう風にして活かしているのか、我々地域のまちづくりではとても手に負えないようなものだと思うのですが、市としてどんなものを取り組んでいるのかなというのを少しお聞かせ願えたらと思います。あるいはまだやっていないようであれば、文化資源としてうまく活用するのが大切か

なと思ったのですが、いかがかなと思ひまして、状況などを聞きたいと思ひます。

事務局

詳しい取組としてどのようなものを行っているかがすぐにお答えできなくて申し訳ありませんが、百人一首などにつきましては、教育委員会で言いますと主に文化課というところが百人一首などの各種事業を展開しておりますので、そういったところで、市の全体の百人一首の活用、テーマとしたまちづくりといひますか、地域の活性化に取り組んでおります。委員の皆様にお配りできるような資料がございましたら、後ほど会議の資料とあわせて提供したいと思ひますのでご了承いただければと思ひます。

丸山委員長

私はよく市の中央図書館に行きますが、そこでも同じように藤原定家とのつながりのような話を特集して、入口のロビーのところで資料などを飾っておりました。図書館の中でもそういったことを展開しているのだと思ひます。あとは宇都宮の高校はけっこう百人一首の強豪で、例年滋賀県で大会が行われ、ちはやふるという映画にもなりましたが、宇都宮はけっこうな強豪だと聞いております。

今井委員

色んな分野の文化で使えそうな良いテーマだなと感じるところですが、私の聞いた講座は、Vスタッフの宇賀神さんという方の非常に良い講座でした。

丸山委員長

宇賀神さんは以前、生涯学習センター運営審議会の委員をやっていただいておりますが、非常に勉強熱心といひますか、色んな分野について熱心に勉強されている方です。

他に何かございますか。

丸山委員長

それでは私の方から、1つはマナビスで登録件数が出ていたのですが、利用についてはどうなのでしょう。利用件数が非常に多い、数があるのか、もしくはシステムを組むのにお金がかかっていると思ひますが、その割にあまり活用されていないですとか、そのあたりを少しお聞かせいただければと思ひます。

事務局

マナビスにつきましては、資料の方には平成28年度、平成29年度でそれぞれ5,000件程度の情報登録を掲載しておりますが、このうち、2,000件程度を講座やイベント開催の情報といったものが占めており、残りの3,000件程度が生涯学習団体や講師の情報などの内容になっております。こちらのシステムはインターネットから検索や閲覧ができるようになっておひまして、平成29度はアクセス件数が約100,000件、平成28年度の件数は99,000件ということで、比較しますと微増しているところでございます。実際に活用されているかというところにつきましては、先ほど少しお話ができました人材バンクを活用したマッチングについて、年間で数件程度しか実績がないような状況がござひますので、前々から課題になっております。今後、周知方法などの検討とあわせて、平成31

年度の12月に行うシステム更新が近づいているということもありますので、活用の仕方や費用に見合った効果的な利用などを現在検討しているところでございます。

丸山委員長

ありがとうございました。

そろそろ予定の時間となりますが、皆様から他に何か聞いておきたいことなどございますか。

竹内副委員長

資料3の平成29年度生涯学習センター事業運営の評価についてご説明いただきましたが、それぞれの講座につきまして、非常に満足度が高いという評価、これは職員の皆様の成果だと思います。要望としてはもしできれば、その満足した後どうなったのかというあたり、要するに生涯学習の目的であります集まって勉強して、それをさらに積み上げていくという、学んだ者が他の人たちとさらに研究していくという広がりが必要だと思うのですが、そのあたりを把握できれば、さらに生涯学習が推進されていると言えるのではないかと思います。先ほど十河委員の話にもありました地域デビューというのが、どれくらいの人がやっているのだろうかなど、やはり学んだ者をこれからどうつないでいくか、その辺りをこれからちょっと把握していただければさらに良いのではないかと考えております。

丸山委員長

ありがとうございました。

それでは以上をもちまして、本日予定していた議事は全て終了いたしました。委員の皆様には、円滑な会議の進行にご協力いただきましてありがとうございました。それでは進行を事務局に戻します。

事務局

それでは次第の5その他に移らせていただきます。事務局から連絡事項がございます。

事務局

【次回の会議日程について説明】

坂本委員

もし会場を確定できるのであれば、先に日にちを決めてもらった方がいいです。いつがよいかという問い合わせをしていただきますが、会場の都合ですから、会場が抑えられるのでしたら、日にちも時間も決めていただいて示した方が計画が立つのではないかと思います。

事務局

会議の日程につきましては、事前に2日間ほどご案内させていただいて委員の皆様の出欠の確認をとらせていただいているところです。この会議には定足数というものがございまして、過半数以上の出席がないと成立しない会議体となっておりますので、事前に出欠状況を伺わせていただいているところです。遅くとも決定する1月前には会場と日にちを決めて、委員の皆様にご案内できるようにいたしますので、引き続きご協力のほど、よろしくお願いいたします。

事務局

それでは、本日は、委員長を始め委員の皆様、長時間にわたるご審議誠にありがとうございました。以上をもちまして、平成30年度第1回宇都宮市生涯学習センター運営審議会を閉会いたします。ありがとうございました。